

森の玉手箱 冬の活動報告 晴天に恵まれた冬の森の観察と諸活動（ネイチャーゲーム・野鳥観察・自然保護についての説明・竹を使った楽器作りと演奏・火を囲んでの食体験）

2月2日（日）午前10時～12時30分 植草学園大学にて実施。

最終回の活動が参加者親子47名とスタッフ10名 総合計57名で実施されました。参加者の今回（最終回）の特徴は、兄弟を連れてきた親が多いことと、夫婦参加が多かったことでした。以下、画像中心に述べます。

本日の日程確認は、いつもの講義室で。



森の入り口の芝生の上で、親子が協力してさあゲーム開始。



動物あてクイズ形式のネイチャーゲーム カードに書いてある特徴からこの動物は、、、？



シイタケ栽培とキノコについての説明。ホダギの木は何という木ですか？（クヌギ）



野鳥観察、望遠鏡がうまく使えるかな？ハクセキレイやヒヨドリ、アオジはいたけど、、、。



冬の森と環境、保全活動について。アッ変なキノコ！ムシがいたぞ！夏より明るい森だね。



竹細工、ノコギリを上手に使うには？親子で協力、ちゃんと押さえてね、引いて切るんだよ



竹細工。ブーブー笛。おみやげにツバキの実をくりぬいた笛。



さあ、火を焚いて、焼いて食べるよ！サツマイモあり、ソーセージあり、マシュマロあり、。。



楽しく有意義な年間4回の森の玉手箱、今回が最終回でした。このあと音楽会もしました。
以上。